

【細谷小学校における児童数・学級数の推移】

は複式学級 単位：人

年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
25	5	5	2	6	3	7	28
26	4	5	5	2	6	3	25
27	10	4	5	5	2	6	32
28	7	10	4	5	5	2	33
29	5	7	10	4	5	5	36
30	2	5	7	10	4	5	33
31	8	2	5	7	10	4	36

() は複式学級数 単位：学級

年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
25	1	1	(1)		(1)		4
26	1	1	(1)		(1)		4
27	1	1	(1)		(1)		4
28	1	1	(1)		(1)		4
29	1	1	(1)		(1)		4
30	(1)		1	1	(1)		4
31	1	(1)		1	(1)		4

※複式学級は国の現行学級編成基準
16人(小1を含む場合は8人以下)による。

1. 望ましい学校規模に向けた
取り組み

(1) 過小規模校の解消を目指す学校

細谷小学校

① 細谷小学校における小規模特認校
の推進

《当面の取り組み》

小規模特認校制度による特色ある学校づくりを、学校と教育委員会が一体となり、保護者のもとより地域住民と共に、より具体的な方策を決定し推進していきます。

○学校の取り組み

・小規模特認校の周知を図るため、ホームページの活用や募集チラシの配付等を積極的に行います。

・小規模特認校の理解を深めていただくよう、日常的に学校の開放を行います。

・保護者の協力も得ながら、特色ある学校づくりを推進して行きます。

○教育委員会の取り組み

・市の広報紙やホームページ等のメディアを活用し、小規模特認校の周知を図ります。

・学校と共に未就学児童の保護者に対し、募集要項を配付する等小規模特認校のPRを行います。

・学校から提案された「特色づくり」を共に検討し、受け入れ体制の支援を行います。

《長期的な取り組み》

平成10年度から指定を受けている小規模特認校としての活動実績に加え、前記の実施状況を踏まえて、存

続または統合についての検討を行います。

○学校の取り組み

・柱となる教育方針を定め、長期的に実施継続していきます。

・特色づくりについての効果等について検証を行います。

・新たな教育活動の取り組みについて、地域の意見を取り入れて推進します。

○教育委員会の取り組み

・小規模特認校制度の実施状況を定期的に検証します。

・定期的な検証に合わせ地域と協議し、存続または統合を検討していきます。

国分寺西小学校

② 国分寺西小学校における小規模特認校の導入

《当面の取り組み》

小規模特認校制度の導入により通学区域外からの児童を受け入れ、当校のメリットを生かした特色ある学校づくりを、学校・保護者・地域・行政が連携協力して推進し、複式学級の解消を目指します。

○学校の取り組み

・特色ある学校づくりについて、保護者・地域・行政と協議し、具体的な教育方針を決定します。

・小規模特認校の周知を図るため、ホームページの活用や募集チラシの配付等を積極的に行います。

・小規模特認校への理解を深めていただくよう、日常的に学校の開放を行います。

○教育委員会の取り組み

・市の広報紙やホームページ等のメディアを活用し、小規模特認校の周知を図ります。・学校と共に未就学児童の保護者に対し、募集要項を配付する等小規模特認校のPRを行います。

・学校から提案された「特色づくり」

